



日本ヘレンケラー財団は、利用者本位の視点に立って、『人間としての尊厳』『自己決定の尊重』『社会の一員としての自覚』『生き甲斐・働き甲斐のもてる生活』を柱とし、ひとりひとりのニーズに即した支援を心がけます。また、地域の福祉ネットワークの核としての役割を自覚し、地域福祉の実現に積極的に貢献し、「守る福祉」ではなく、常に利用者の方のニーズに応えていけるように絶えず先駆的事业に取り組んでまいります。職員においては、キャリアアップを図り、働き甲斐のもてる職場環境の整備及び、優秀な人材(人材)の育成に努めます。最後に、安定的な財務基盤の確立のため、適切な収益確保に努力し、計画的且つ効果的な事業運営を行います。

《職員行動指針》

- ◎私たちは利用者の方の人権を最優先に考え、自己研鑽(スキルアップ)に励み、満足度100%の支援を目指します。
- ◎私たちは常に向上心を持ち、利用者の方の立場に立って支援します。
- ◎私たちは変化に臆することなく、また、現状に満足することなく自らの進化に挑戦し続けます。
- ◎私たちは福祉のプロとして自覚し、プライドと責任をもって支援にあたります。
- ◎私たちは地域や行政に積極的に提言・実践を行い、地域福祉の向上に努めます。